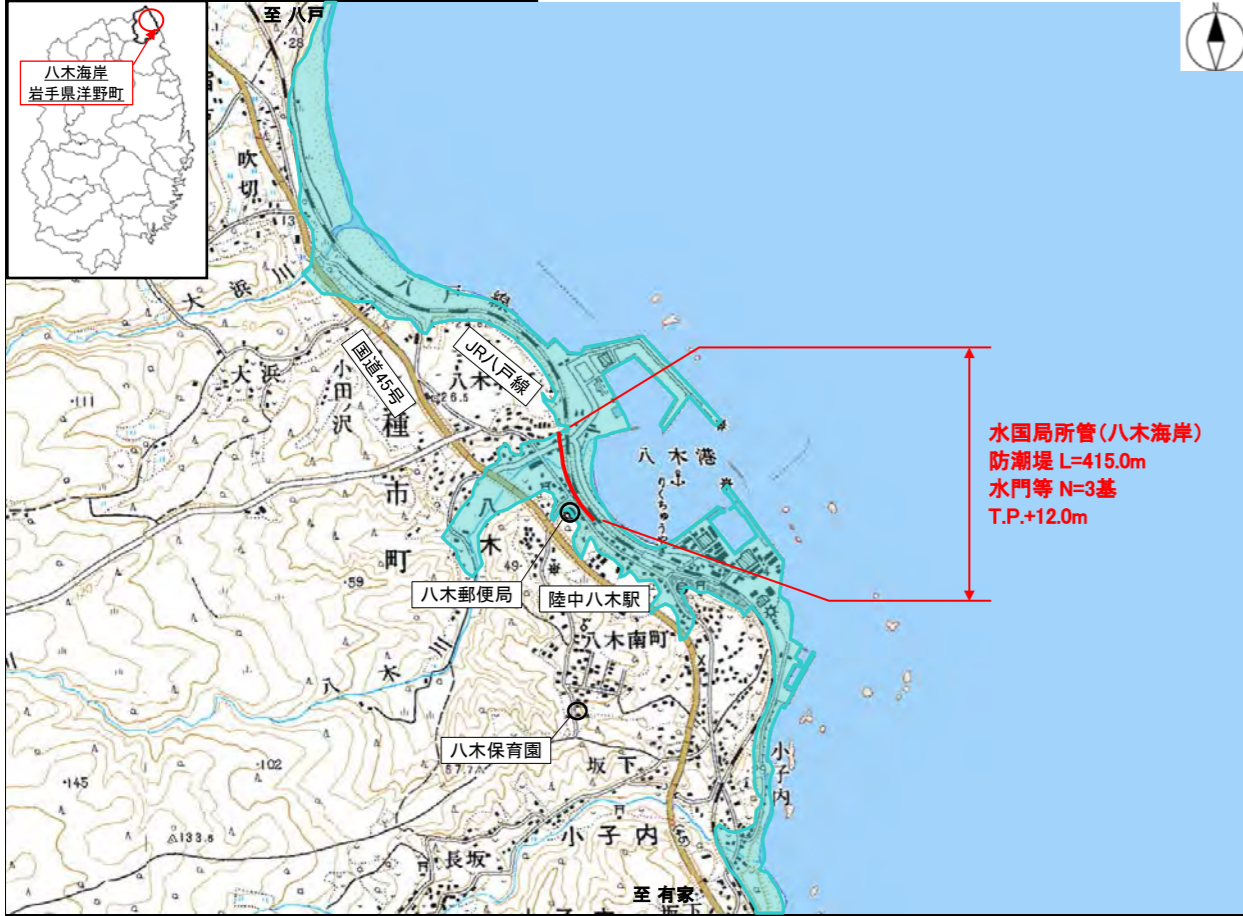
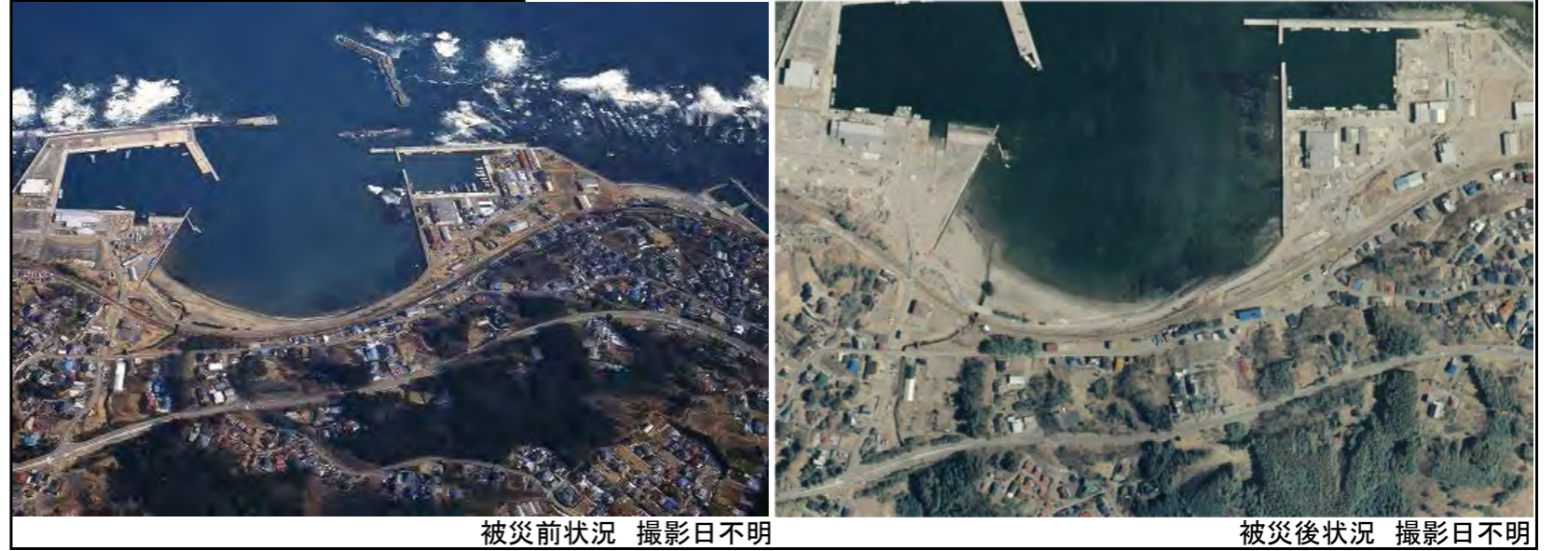


【位置図】（被災前施設状況）



【被災前後比較航空写真】



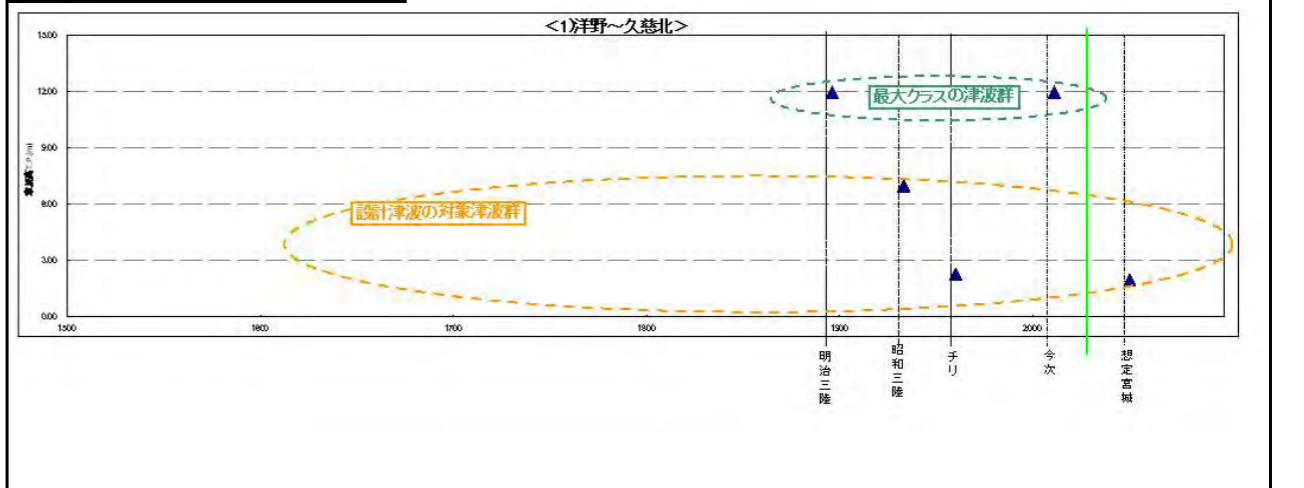
【計画堤防高の設定】

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
 - ①過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
 - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
 - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、八木海岸では新計画堤防高をT.P.+12.0mと設定し、防潮堤を新設する方針。

【被災状況写真】



【設計対象津波の選定】



【計画堤防高の設定】

地域海岸名	今次津波痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】>【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
洋野・久慈北海岸	12.0	昭和三陸地震	5.4	6.4	被災前計画高にて決定	12.0	12.0

単位:m(T.P.)

洋野町復興まちづくり計画

<洋野町震災復興計画>

海と高原の絆、未来へ 確かな復興

【基本施策3】 災害に強いまちづくり

被害が甚大であった八木地区の防潮堤の整備を県へ要望します。

水門、河川護岸堤や防災・避難施設の整備に努めます。また、八戸・久慈自動車道の整備促進を要望するほか、町内の道路網の整備を図ります。

地域コミュニティを主体とする自主防災組織の育成強化をはじめ、停電に対応する非常用電源の確保に努めます。

遠隔市町村との災害協定締結の推進を図り相互支援体制の確立に努めます。

また、震災経験を教訓とするために、震災記録の保存と継承に努めます。

- (1) 防潮堤の整備
- (2) 水門・河川護岸堤の整備
- (3) 防災・避難施設の整備
- (4) 道路網の整備
- (5) 非常用電源の確保
- (6) 自主防災組織の育成強化
- (7) 震災記録の保存と継承
- (8) 災害協定締結の推進

洋野町ホームページ『洋野町震災復興計画(H24.8.1改訂版).pdf』より

【復旧方針平面図】



標準断面図

凡 例

- : H23年度迄実施区間
- : H24年度実施区間
- : H25年度実施区間
- : H26年度要求区間
- : H27以降区間

H24
詳細設計 N=1式
用地測量 N=1式

H25
詳細設計 N= 1式
用地補償 N= 1式
防潮堤 L= 415m
水門1基、陸閘2基

H26
詳細設計 N= 1式
用地補償 N= 1式
防潮堤 L= 415m
水門1基、陸閘2基

H27
防潮堤 L= 415m
水門1基、陸閘2基

